

1月22日～23日、ポレポレ&夢工房の旅行（第2弾）で山口へ行って来ました！

ポレポレメンバー21名、夢工房メンバー4名、保護者12名、スタッフ10名、総勢47名のにぎやかな旅となりました。あいにく寒波の予報でしたが、天候や道路状況に大きな影響はなく、無事に行程を終えることができました。

夢工房では、初めて旅行に参加されたメンバーもあり、最初はみんな緊張気味でした。バスの中で自己紹介を行い、ポレポレのメンバーやスタッフに声をかけてもらいながら少しずつ緊張もほぐれていきました。

初日は、門司港レトロを訪れ、海を眺めながら焼きカレーを堪能。次に秋吉台サファリパークへ向かい、車内から動物を間近に見たり、エサやりバスに乗車し、おそろおそろ動物にエサをあげたりと大興奮でした。夜は旅館に宿泊し、みんなで温泉に入り、宴会やカラオケで盛り上がり、笑顔あふれる時間となりました。

2日目は、海響館や唐戸市場を見学。海の生き物に触れたり、港町の雰囲気味わったり、名物の瓦そば・フグを堪能し、山口ならではの旅行となりました。久しぶりのポレポレと夢工房の合同旅行。メンバー、保護者やスタッフが互いに声をかけ合い、支え合いながら安心して行動することができました。寒い中でしたが、普段とは違うたくさんの笑顔が見ることができ、とても素敵な思い出に残る山口旅行となりました。これからも、一人ひとりが安心して参加できる行事を大切にしていきたいと思います。

(出会いの場ポレポレ 永田薫郎、夢工房 野瀬 渉)



はじめて行った山口旅行でとても楽しかったです。また行きたいです。カラオケも楽しかったです。ありがとうございました。(夢工房メンバー 山本勇二)

久しぶりに親子で旅行に出かけられてよかったです。海響館でイルカショーが見られなかったのがちょっと残念でしたが、宴会でのカラオケ大会では、よっちゃん(息子)のダンスを見ることができて良かったです。(父 堀江純一)



児童短期入所「出会いの場Lala」 開所から半年!! 新たな一歩へ!

出会いの場Lalaは、2025年7月にスタートし半年が経ちました。保護者の方と離れ、初めての場所でお泊りをする子が多く、不安そうなお顔や落ち着かない様子もありましたが、回数を重ねる度に笑顔で来所し、自分の落ち着く場所を見付けたり、時間を過ごしたりする姿が見られるようになりました。また、Lalaでは生活体験の一環として、一緒に夕食作り・配膳・片付けを行っています。回数を重ねる毎に、自分のことや友達のこと、お互いに助け合ったり協力し合ったりすることも多くなってきました。これからも、日常生活に必要な力を身につけていける内容を組み込んでいながら、今後も多世代の方との関わりや、ご協力のもと、新たな一歩を踏み出していきたいと思っております。(保育士 井元ひとみ)



「出会いの場ポレポレ」の大規模改修に向けて 報告 ～より過ごしやすい、集いやすい場所へ～

現在、ポレポレでは、大規模改修に向けて着々と準備を進めています。事務所を2階へ移したり、活動班の受付を新設したりと、「実際にやってみる」ことで、新しい施設のイメージを膨らませているところです。

3月には、以下の2件の工事を行います。

【工事①】カリブ南側の居室の壁を取り除き、日当たりの良さを活かした、広くて居心地の良い空間を作ります。

【工事②】ポレポレ玄関横の居室と食堂の間の壁を撤去し、お客さんや地域の方が、ふらっと立ち寄れるような、開放的な空間を作ります。

工事期間の1ヶ月間は、活動班の移動などでご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

3月、インドネシアから4名の「新しい仲間」がやってきます！

特定技能実習生の皆さんです。

来月3月3日より、インドネシアからの4名の特定技能実習生が、職員として拓くの仲間に加わることになりました。

昨年7月、理事長と私は登録支援機関の方に案内していただき、インドネシアを訪問。日本で働き、仕送りをするを目標に一生懸命勉強している姿に刺激を受け、一緒に働いていただくことを決めました。

4名の方々は、特定技能の在留資格を取得された、二十歳前後のエネルギーに満ちあふれた女性たちです。（日本語能力試験N4を取得し、介護日本語評価試験を合格）特定技能実習制度は、最長5年の実習期間であり、その間に国家資格（介護福祉士）を取得すると延長される仕組みとなっています。

最初は言葉や文化、宗教の違いに、実習生も、そして私達も戸惑うことがあるはずですが、

今回の受け入れは、人材不足を補うということではなく、私達たちが異国の文化や言葉に刺激を受け、多様性に触れる機会になることを願っています。誰もが混ざり合うために、言葉の壁をどのように乗り越えていくのか。まさに、私達一人ひとりが勉強するきっかけになるとおもいます。文化の垣根を越えて共に歩む「新しい仲間」としてお迎えしたいと考えています。

彼女たちが「拓く」の現場で自分らしく活躍し、メンバーやご家族とも笑顔で交流できるよう、地域全体で温かく迎えていただければ幸いです。

今後、皆さまとも交流できるようにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（統括本部長 北岡さとみ）